

桁・垂木の配置基準位置【土庇・作成条件】

文書管理番号：1110-01

Q. 質問




屋根伏図の土庇で、桁や垂木を配置する際の基準位置はどこか。
3D パースなどの作成条件で、桁や垂木、母屋が自動配置される際、どの位置を基準として配置されるのか。

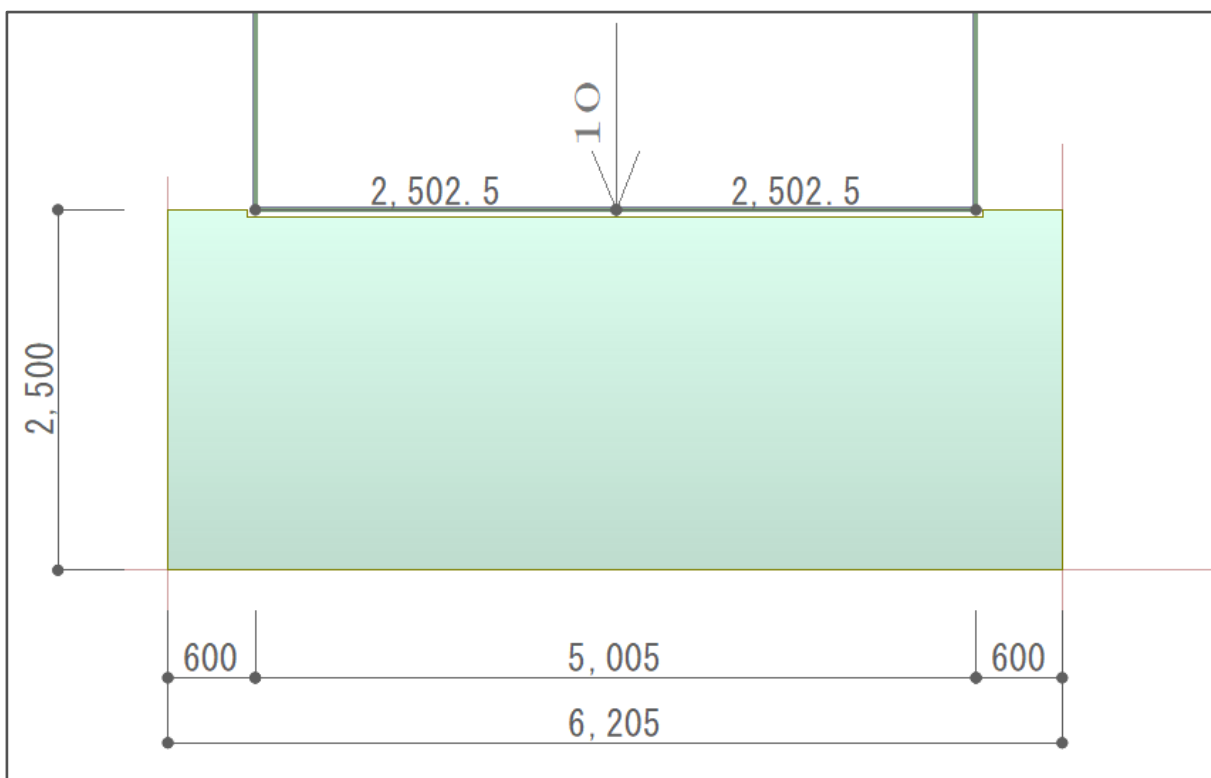
A. 回答

屋根伏図の土庇から配置する化粧桁・化粧垂木や、3D パースなどの作成条件から設定できる自動母屋・桁、自動垂木については、屋根伏図で設定する基準や、建物外郭線の位置によって、配置基準が異なります。

ここでは、基本的な基準位置について説明します。

土庇で配置される化粧桁、化粧垂木の配置基準位置

 (屋根伏図)の  (面作成)から、 (土庇)を配置します。



* 化粧桁・化粧垂木、および面設定の内容は以下の通りです。

土庇

化粧桁

幅 mm

高さ mm

ピッチ mm

化粧垂木

幅 mm

高さ mm

ピッチ mm

面設定

GL基準 mm

軒基準 mm

勾配 /100

カーベスト, 102, 222

屋根属性 軒先厚 mm

屋根厚 (A+B+C+D) mm

A: 仕上厚 mm

B: 野地板厚 mm

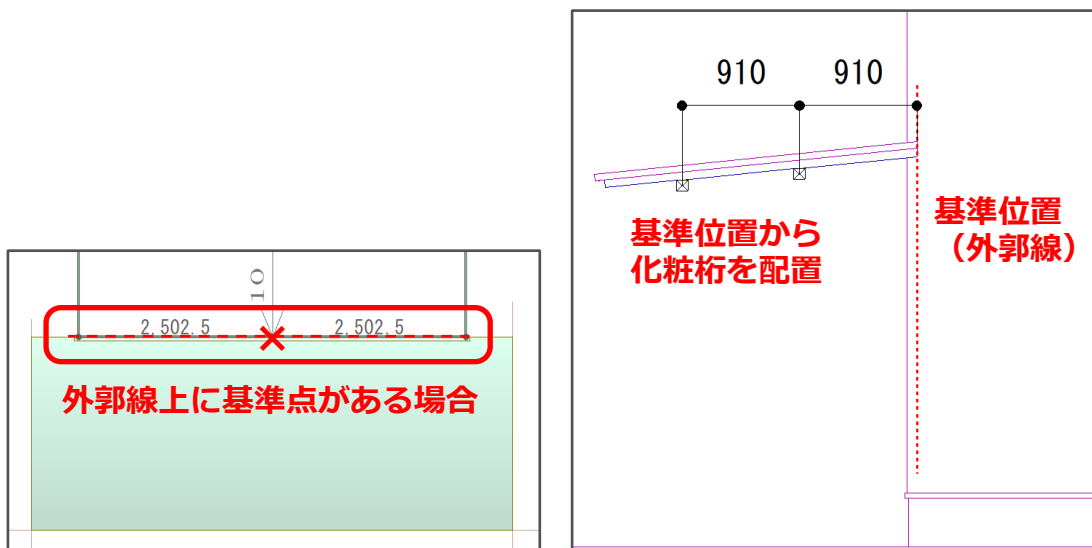
C: 他下地厚合計 mm

D: 垂木高さ mm

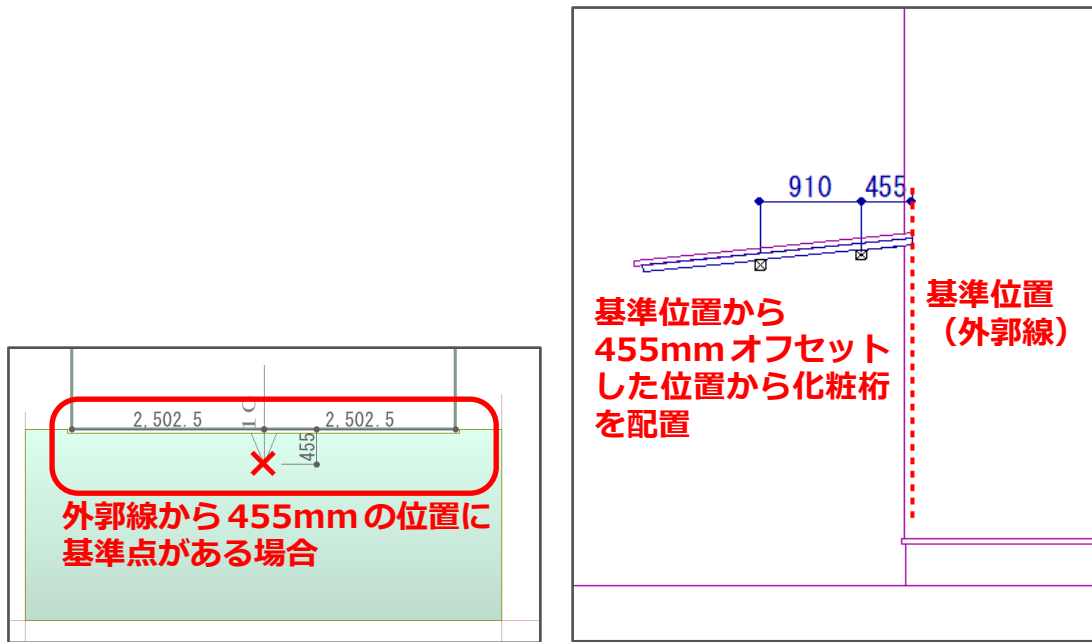
大屋根
 屋根面をすべて変更します。

● 化粧桁の配置基準

化粧桁の配置基準位置は「面設定時の基準点」で、矢印先端部分を基準に化粧桁が配置されます。



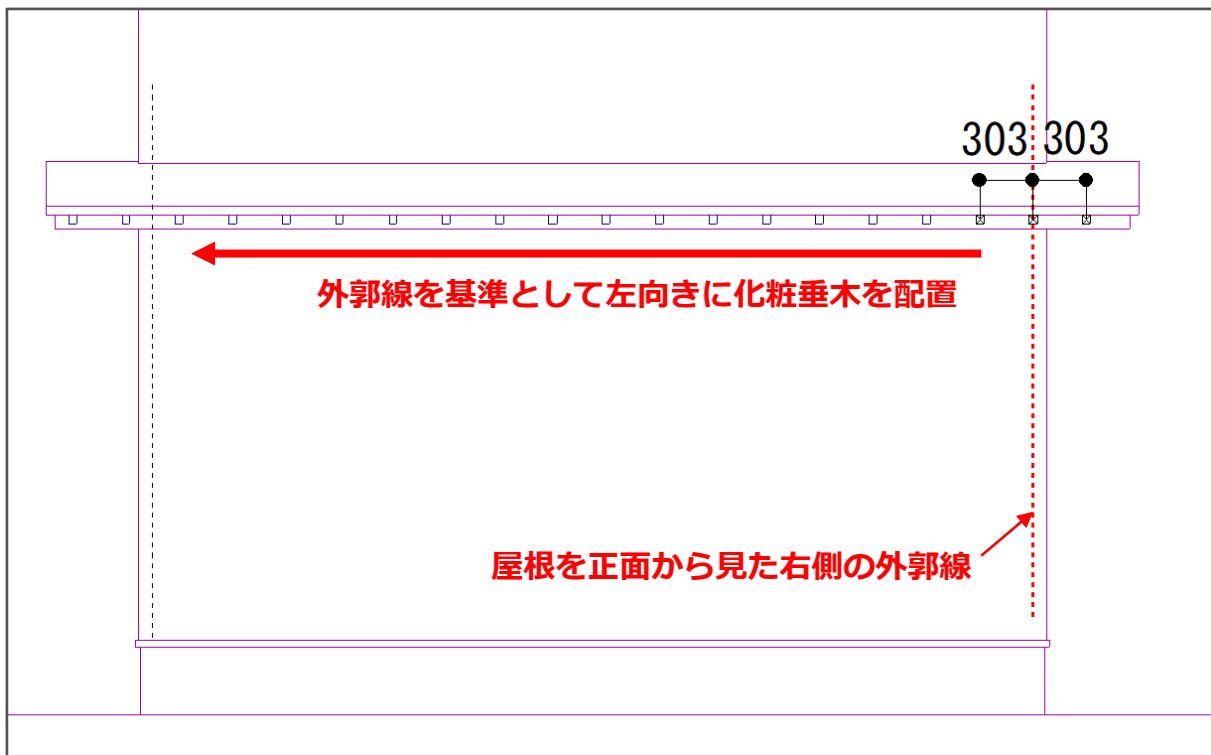
* 基準点を外郭線から 455mm オフセットした位置にした場合



● 化粧垂木の配置基準

化粧垂木の配置基準位置は「外郭線」で、さらに屋根を正面から見て「右側」から配置されます。

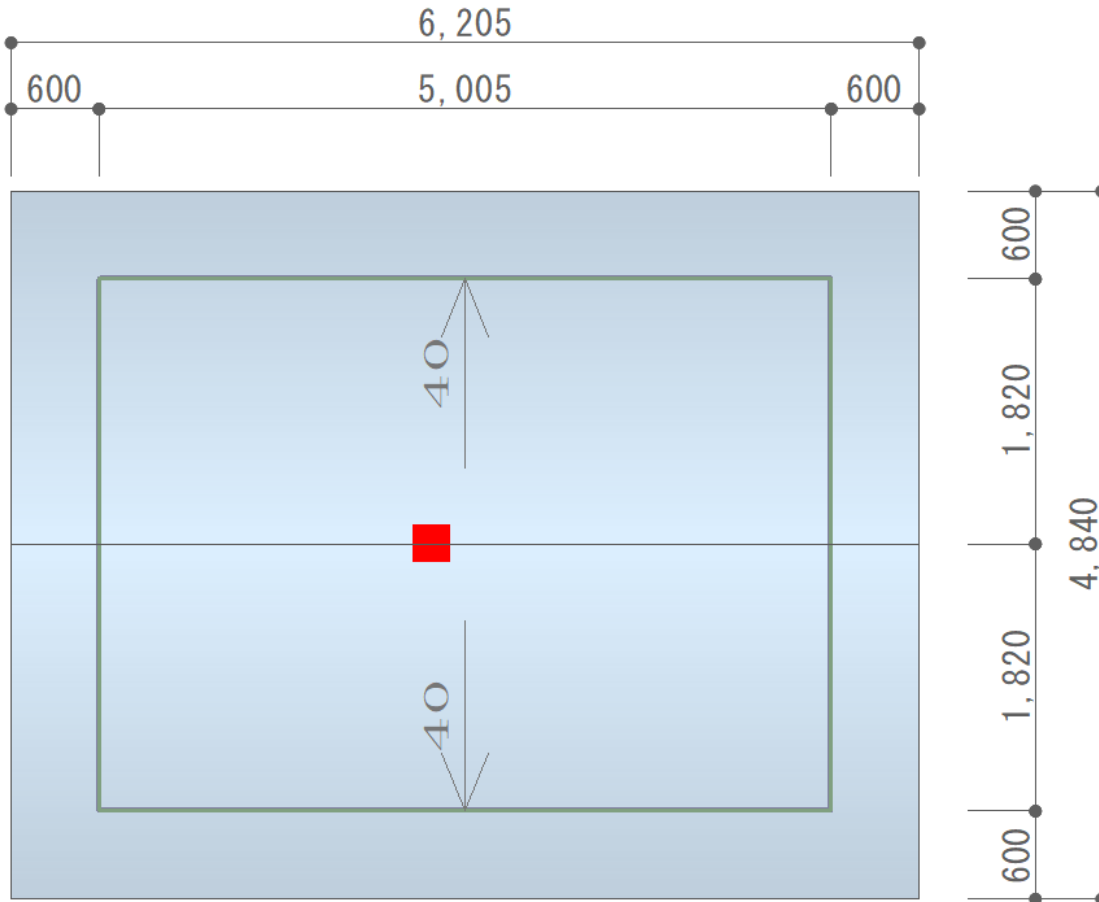
* 面設定時の基準点は、化粧垂木の配置基準位置には影響しません。



3D パースで配置される自動母屋・桁、自動垂木の配置基準位置

3D パースと同様に、鳥瞰図、カラー立面、立面図でも設定できます。

(屋根伏図)で切妻屋根を配置します。



(3D パース)や (立面図)の (作成条件)から、自動母屋・桁、自動垂木を表示させます。

* 作成条件や自動母屋・桁、自動垂木の内容は以下の通りです。

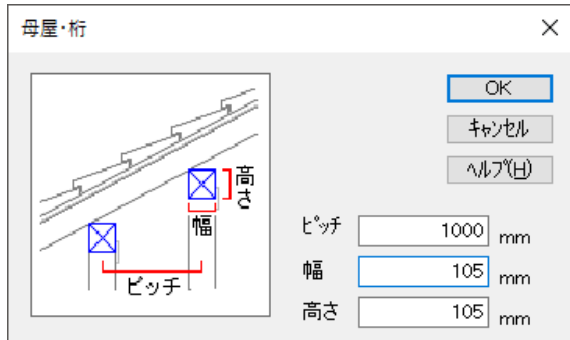
←「屋根」タブにある「軒裏仕上げあり」のチェックを外す

←自動鼻隠し、自動破風を「なし」

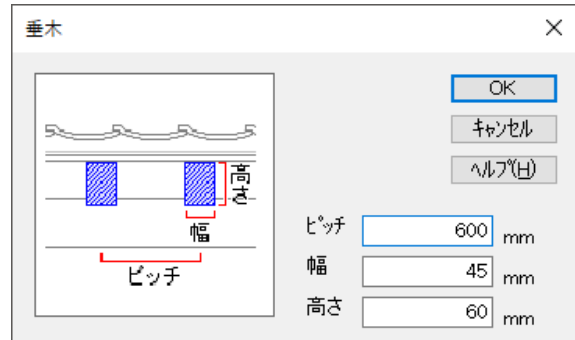
自動母屋・桁、自動垂木を「有り」

自動母屋・桁、自動垂木の詳細は「設定」から行う

* 自動母屋・桁の設定画面

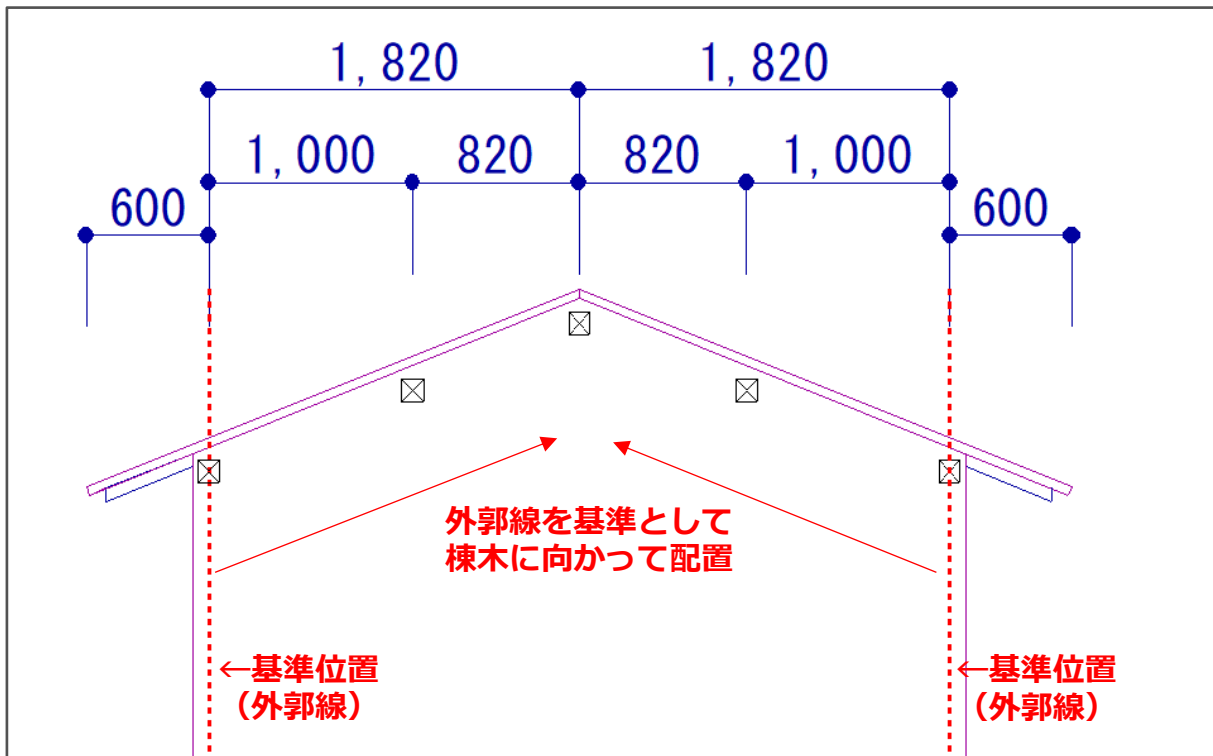


* 自動垂木の設定画面

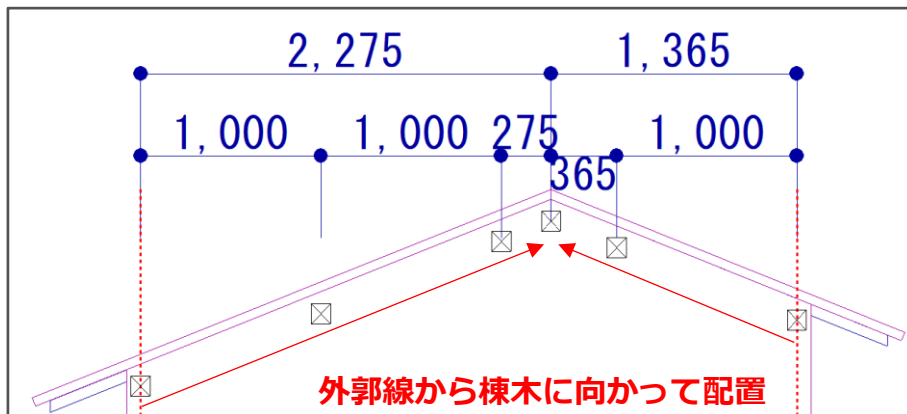


● 自動母屋・桁の配置基準

自動母屋・桁の配置基準位置は「外郭線」で、棟木に向かって配置されます。



* 棟線から外郭線が左右対称ではない場合



- **自動垂木の配置基準**

自動垂木の配置基準位置は「外郭線」で、さらに屋根を正面から見て「右側」から配置されます。

